

中田地区 「ポイ捨て防止キャンペーン」

について

課題

1999年に地下鉄の新駅（踊場駅、中田駅、立場駅）の3駅ができたことにより、地下鉄利用者が増加しました。

人口も増え、各駅の乗降数が増加したこともあり、それに比例するようにポイ捨てごみも増加しました。



きっかけ

中田地区では、以前から不定期的に
ごみ拾い活動を行ってききましたが、地
区内のポイ捨てが増加したことから、
不定期だったごみ拾い活動を「ポイ捨
て防止キャンペーン」と名付けて中田
地区の年間行事の柱としました。



苦勞したところ

過去には「ブラウン管テレビ」が不法投棄されていたことや、地下鉄の新駅周辺には、たばこの吸い殻が多く捨てられていました。

吸い殻は小さいため、トングで挟むのが大変で回収に苦勞しました。

また、街道沿いのため、車両からのポイ捨てごみもとても多くあり、車両に気をつけながらの回収にも苦勞しました。



現在は・・・

とても地道な活動ですが、「継続は力なり」をモットーに、まちの美化の一助として活動を続けたことにより、不法投棄やポイ捨てが減ったことを実感しています。

また、日頃からきれいにしておくことで、ちょっとしたまちの風景の違いにも気がつきやすくなり、地域間で美化対策に係る情報共有もスムーズに行えるようになりました。

